

利用・用途・応用分野

医薬品生産、有用タンパク質の生産

目的・課題

有用タンパク質を生産する場合、細胞外へ分泌させて生産する分泌タンパク質も数多くある。

様々なタンパク質を効率よく分泌させるためには分泌シグナルを開発する必要がある。

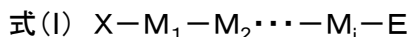
分泌能力が高く、かつ複数のタンパク質を分泌することができる汎用性の高い分泌シグナルペプチドをコードするDNAを提供することを目的とする。



解決ポイント

【a】又は【b】のアミノ酸配列からなる分泌シグナルペプチドをコードするDNAを作製する。

【a】式(I)のアミノ酸配列からなる分泌シグナルペプチド



X:リジン又はアルギニン

M:メチオニン

E:グルタミン酸

i:12~17の整数を示す

【b】式(I)にて1又は2個のメチオニンが疎水性アミノ酸に置換したアミノ酸配列からなり、酵母細胞で発現した目的タンパク質を細胞外に分泌する分泌シグナルペプチド

研究概要・アピールポイント

- ◆本発明の分泌シグナルペプチドをコードするDNAを用い、目的タンパク質を分泌生産させることにより、細胞を破碎することなく、様々なタンパク質を効率よく生産できる。
- ◆酵母細胞で発現した目的タンパク質を細胞外に分泌する能力を有する分泌シグナルペプチドをコードする新たなDNAは、有用タンパク質の高分泌生産に利用できる。
- ◆形質転換体を培養し、培養液から目的タンパク質を回収することを特徴とする。

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp